

2017 JAIMA セミナー 「これであなたも専門家－流れ分析編」

株式会社 小川商会 樋口慶郎

平成 29 年 9 月 8 日午後 2 時から 5 時まで、幕張メッセ国際会議場 302 会議室で JAIMA セミナー「これであなたも専門家－流れ分析編」が開催された。このセミナーは、毎年 9 月初旬に開催される JASIS (Japan Analytical & Scientific Instruments Show, 2012 年以前は分析展として開催されていた) の併設として、(一社) 日本分析機器工業会 (JAIMA) 主催で行われているものであり、FIA 研究懇談会 (JAFIA) としても毎年企画してセミナーを開催している。JASIS 展示会には、分析機器に関する最新情報収集や機器導入を前提とした市場調査など、さまざまな目的の現場実務者が全国から多く訪れる。したがって本セミナーの対象は、基礎研究から分析現場での応用に至るまで幅広く、日本分析化学会が主催する年会や討論会のような学会とは少し違ってくる。このことを認識すれば FIA の普及・発展という観点から有益なセミナーのひとつに位置づけることができる。こうして、主催する JAIMA、開催を具体化する団体、及び参加者の三者各々の思惑が一致して学会では達成できない成果がそれぞれに生まれる期待がある。我々 JAFIA は、FIA を知らない分析機器ユーザーに FIA を知ってもらい、知っている人にはより親しみを持ってもらい、すでに FIA ユーザーである方にはより有益な情報を提供しようと毎年テーマを決めて開催してきた。すなわち FIA のファンを満足させると同時に新たなファンを開拓することを目的としている。一方、2009 年の JIS K0126 通則の改正の際、FIA に加えて連続流れ分析法 (CFA) を含んで“流れ分析法”として再構築され、JIS K0170:2011 “流れ分析法による水質試験方法” 制定で初めて JIS に個別企画化された。これを受けて、本セミナーの企画を策定するに当たっては、できるだけ CFA の情報も発信することで相乗的な FIA, CFA の発展を心がけている。

今年度の開催日は、サンクトペテルブルグ (ロシア) で開催された ICFIA 2017 と日程が重なってしまうという少し残念なこともあった。当日は、板橋英之先生 (群馬大理工) に座長を引き受けていただき、以下の講演を行った。なお、昨年の聴

講者から、時間の割には講演が多すぎて内容についていくのが難しかったとの意見があったので、これを踏まえて今年度の講演は 4 件とした。JIS K0170 改正作業を中心とした最新情報の具体的な提供を中心として、それを支える FIA と CFA それぞれの技術や市場の動向について紹介し、さらに、FIA の高機能化の観点から、抽出/FIA の新しい展開についても講義していただいた。講演概要は次のとおりであった (敬称略)。「研究と実用分析を支える流れ分析法の実際 小川商会 樋口慶郎」、「化学分析を快適に行うための CFA 法マイルストーンゼネラル 鈴木弘久」、「JIS 規格などにおける流れ分析法の最新情報 横浜国大 中村栄子」、「FIA を利用した抽出の新展開 板橋英之」。講演いただいた先生方には改めてお礼申し上げます。今回の聴講者数は前年と同じ 32 名 (主催者集計) で、活発な討論も行われて、例年以上の盛り上がりを感じることができた。ここ数年を見る限り、参加者数として 30 名を越す数は定着したと見込めるようになったものの、さらなる集客策を講じる必要性を感じる。筆者は今回、同日午前中に開催された (一社) 日本環境測定分析協会主催のセミナー「JIS K0170 流れ分析法による水質試験方法の改正の動向について」と題するセミナーでも講演させていただいたが、同協会員の方々を中心に 80 名以上の参加があり熱気を帯びていた。私見ではあるが、両セミナーの内容に遜色は無いと確信する。しかし、傘下の会員が欲しい情報を、直接その人たちに提供する具体性、主体性のあるセミナーになっているか否かが両セミナーの参加者数の差のひとつの要因になったと思われる。このことから、今後このような団体との連携を図ることによって我々が企画するセミナー自体の活性化と有益性の向上につなげていくのではないかと考えている。

2018 年の開催も決定している。このセミナーがさらに有益なものとして機能していくように努力していきたいと思っています。JAFIA 会員の皆様のご支援ならびにさまざまなご提案を広くお待ちしております。